

# 外資参入規制变化の産業成長に与える影響：<sup>\*</sup>

WTO 加盟前後における中国を事例に

稲田光朗<sup>†</sup>

## 概要

対中外国直接投資 (FDI) は中国の急速な経済発展と共に増加してきた。それに伴い、外国直接投資が中国の産業の生産性成長に与える影響に関して多くの実証研究がなされてきた。本稿はこうした中国における外資の活動に影響を与えたと考えられる中国の WTO 加盟により生じた、2002 年の中国の外資参入規制变化、具体的には「外商投資産業指導目録」の改定の効果を、中国の産業レベル・パネルデータを用いて検討したものである。Difference in Differences 法の推計結果によると、規制变化と一貫して、外資参入規制变化を受けた産業は、外資系企業の総売上、国内売上、輸出が有意に増加していた。そして、同時に産業全体の労働生産性、資本労働比率、TFP の上昇を経験していた。これらは、「外商投資産業指導目録」の改定により規制变化を受けた産業の増大が外資系企業の活動の活発化をもたらしたこと、それと同時に産業の生産性を増大させたことを含意する。頑健性チェックとして、外資参入規制变化を受けた産業とそうでない産業の間には規制变化以前には有意なトレンドの差が無かったことを確かめた。また、以上の結果は産業レベルの関税削減の度合いをコントロールしても変化しなかった。これらは、外資参入規制变化を受けた産業が経験した外資系企業の活動の増大、産業生産性向上は、関税削減等といった外資規制变化以外の要因では説明しがたいことを含意している。最後に、規制变化によりこれまで参入の遅れていた非中華圏の外資系企業の資本額の増大をもたらしたこと、および規制变化による産業生産性の上昇は、最終財ではなく、中国において相対的に発展が遅れていた中間財や資本財生産に関する外資参入規制变化により生じていたことを明らかにした。

<sup>\*</sup>本稿の作成にあたり、手島健介、西山慶彦、奥井亮の各先生方からは多大な御指導を賜った。また神事直人、岑智偉、福重元嗣、人見光太郎、福井清一、矢野剛、山本裕美、李佳、劉徳強の各先生方、および関西計量経済研究会 2010 年度研究発表会、京都大学国際貿易 BBL セミナー、第 10 回中国経済学会全国大会、第 22 回国際開発学会全国大会、京都大学中国经济研究会のセミナー参加者から有益なコメント、ご助言を受けたことをここに感謝する。

<sup>†</sup>京都大学経済学研究科 Email: inada.mitsuo.84z@st.kyoto-u.ac.jp